

海草藻場の生育範囲拡大について

令和7年3月

沖縄防衛局

豊原海域における海草藻場の生育範囲拡大について

- 本事業の環境保全措置「海草藻場の生育範囲拡大」として、豊原海域において、令和4年度及び令和5年度に各2,000株のリュウキュウスガモの種苗を植え付け、植付け後モニタリングを実施しており、令和7年1～2月には、植付け地点①及び⑥において、「令和6年度の植付け」を実施した。
- 本委員会では、「令和6年度の植付け」の実施結果について報告する。

豊原海域における海草藻場の生育範囲拡大の実施状況

年月		令和4年度			令和5年度											令和6年度														
季節		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
季節		冬季			春季		夏季			秋季			冬季			春季			夏季			秋季			冬季			春季		
海草藻場の生育範囲拡大の実施	植付け地点③	50区画 1,000株	●					●	●	●			●						●				●					●		
	植付け地点④	50区画 1,000株	●					●	●	●			●							●				●				●		
	植付け地点②	50区画 1,000株													●					●				●				●		
	植付け地点⑤	50区画 1,000株													●					●				●				●		
	植付け地点①	50区画 1,000株																										●	※1	
	植付け地点⑥	50区画 1,000株																										●	※1	
年月		令和7年度											令和8年度																	
季節		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
季節		春季			夏季			秋季			冬季			春季			夏季			秋季			冬季			春季				
海草藻場の生育範囲拡大の実施	植付け地点③	50区画 1,000株																												
	植付け地点④	50区画 1,000株																												
	植付け地点②	50区画 1,000株																												
	植付け地点⑤	50区画 1,000株																												
	植付け地点①	50区画 1,000株																												
	植付け地点⑥	50区画 1,000株																												
※2	100区画 2,000株																													

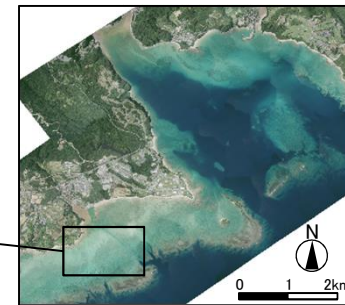
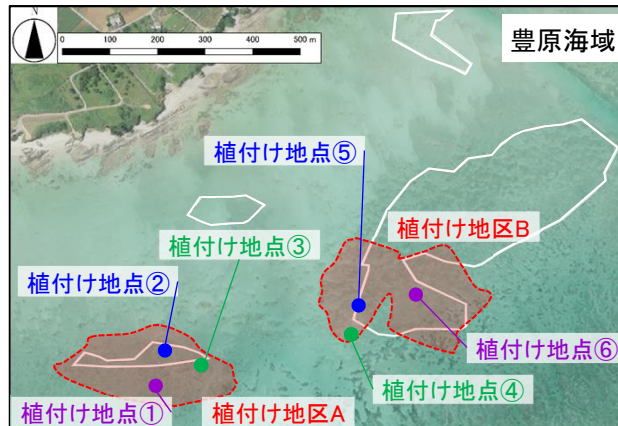
← 実施済み 予定 →

●: 植付け(実施済み) ○: 植付け(実施予定) ●: モニタリング(実施済み) ○: モニタリング(実施予定)^{※3} □: 今回報告事項

※1 荒天により一部は2月に実施した。

※2 植付け地点は、各年度の現地踏査の結果を踏まえて決定する。

※3 モニタリング期間は、植付け後3年を目安とし、それ以降は植付け3年後時点の状況により検討する(第40回委員会にて提示)。



- : 海草類生育範囲(H29調査結果)
- ▭: 植付け可能範囲(R4マンタ調査結果)
- : 令和4年度の植付け実施地点
- : 令和5年度の植付け実施地点
- : 令和6年度の植付け実施地点

豊原海域における海草藻場の生育範囲拡大の実施場所

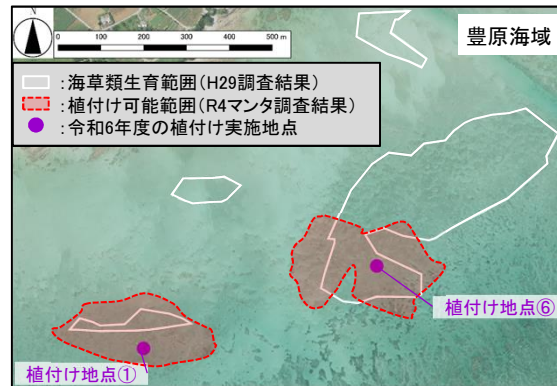
「令和6年度の植付け」の実施結果について

- 第52回委員会において選定した植付け地点①及び⑥において、令和7年1月20日～2月5日に、リュウキュウスガモの種苗を各50区画(1,000株)、合計100区画(2,000株)植え付けた。
- 植付け密度は1区画(2m×2m)当たり20株とし、シュート数はランク3(10～15シュート/m²)となるように植え付けた。
- 植付け完了翌日の2月6日に、植付け地点⑥の移植株全体の1割未満において、アオウミガメによる被食が確認された。
- 今後は、過年度と同様に、夏季と冬季の2回に加えて、台風等による環境変化が生じたと考えられた場合にも、下表に示す項目についてモニタリングを行う予定。

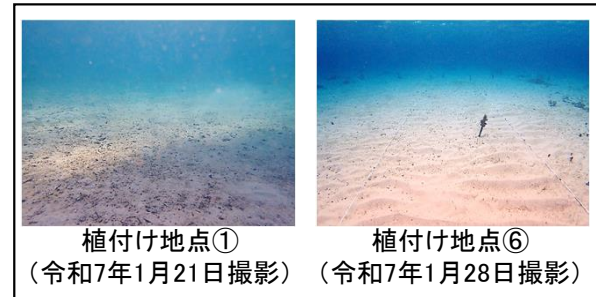
植付け後のモニタリング方針

調査地点	全ての植付け区を対象。
調査時期	夏季と冬季の年2回とし、台風等による環境変化が生じたと考えられた場合にも追加で実施。
調査期間	植付け後3年を目安とし、それ以降は植付け3年後時点の状況により検討。
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・潜水目視観察により、リュウキュウスガモのシュート数(ランクによる把握)、砂層厚、底質概観など地点周辺の状況(海草藻場の状況)を確認。 ・他の海草類の生育(混生)や、開花・結実などが見られた場合は特記事項として記録。

※第40回委員会資料より再掲

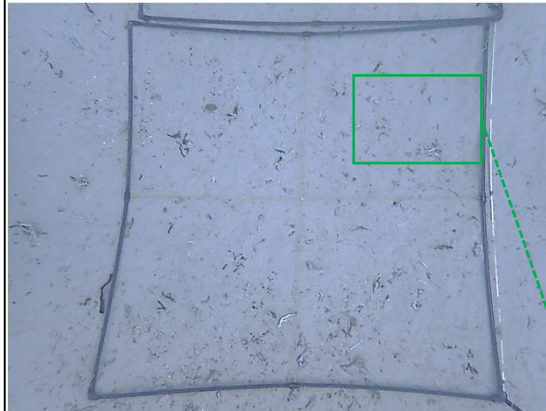


令和6年度の植付け実施地点



植付け前の状況

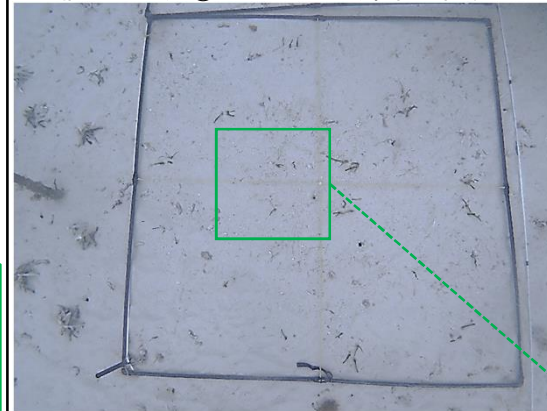
■ 植付け地点① No.25区画(令和7年1月22日撮影)



※シュート数(ランク)=3



■ 植付け地点⑥ No.80区画(令和7年1月31日撮影)



※シュート数(ランク)=3



植え付けたリュウキュウスガモ種苗(移植株)の状況

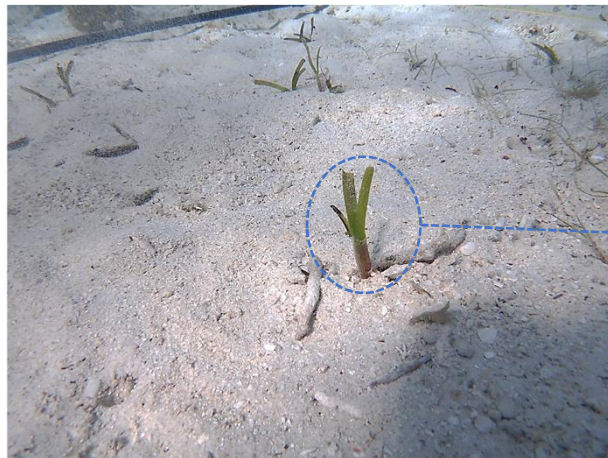
令和6年度の植付け時におけるアオウミガメによる移植株の被食状況について

- 前ページに記載のとおり、令和7年1月20日～2月5日に、リュウキュウスガモの種苗2,000株を植え付けたところ、植付け完了翌日の2月6日に地上部(シュート)が切断された状況が確認され、切断部位の形状※1から、アオウミガメにより被食されたものと考えられた。このような状況は、植付け地点⑥の移植株全体の1割未満において確認され、植付け地点①では確認されなかった。
- 被食されたシュートの下部(葉及び葉鞘※2)と地下茎が残存していること、被食された移植株の割合が過年度と比較して少ないことなどから、今後は、夏季のモニタリングにおいて回復状況を確認する予定。

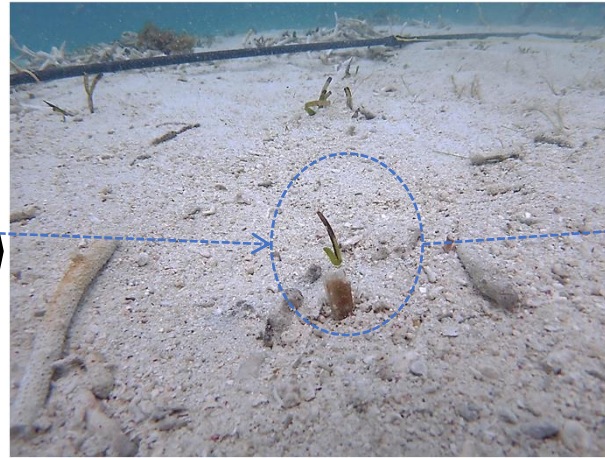
※1 参考資料: 中西喜栄(2009). 石垣島の海草藻場で確認されたアオウミガメの食み跡. 沖縄生物学会誌, 47:9-23.

※2 葉の基部が鞘状となり、茎を包む部分。葉の成長点は葉鞘の部分にある。

■ 植付け地点⑥ No.63区画



植付け実施時(令和7年1月30日)



植付け完了の翌日(令和7年2月6日)



アオウミガメによる移植株の被食状況